

(文教はぐくみ委員会資料)

令和 7 年 1 2 月
子ども若者はぐくみ局

○ 議第 160 号～第 177 号「指定管理者の指定について(子ども若者はぐくみ局関係)」
参考資料

議第 160 号「京都市葵児童館及び京都市ひとり親家庭支援センター」	・・・	1
議第 161 号「京都市岩倉南児童館」	・・・	5
議第 162 号「京都市朱雀第三児童館」	・・・	9
議第 163 号「京都市花山児童館」	・・・	13
議第 164 号「京都市祥豊児童館」	・・・	17
議第 165 号「京都市常磐野児童館」	・・・	21
議第 166 号「京都市西京極児童館」	・・・	25
議第 167 号「京都市御室児童館」	・・・	29
議第 168 号「京都市川岡東児童館」	・・・	33
議第 169 号「京都市桃山東児童館」	・・・	37
議第 170 号「京都市深草児童館」	・・・	41
議第 171 号「京都市翔鸞学童保育所」	・・・	45
議第 172 号「京都市修学院学童保育所」	・・・	49
議第 173 号「京都市三条学童保育所」	・・・	53
議第 174 号「京都市一橋学童保育所」	・・・	57
議第 175 号「京都市東和学童保育所」	・・・	61
議第 176 号「京都市桂東学童保育所」	・・・	65
議第 177 号「京都市向島学童保育所」	・・・	69
各指定候補者の役員名簿	・・・	73

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市左京区下鴨北野々神町 2 6 番地
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 4 階建て (1、2 階部分の一部)
延べ床面積 678.00 平方メートル

2 指定期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 1 4 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名 (代表者名)	一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会 (代表理事 横内 美佐子)
主たる事務所の所在地	京都市左京区下鴨北野々神町 2 6 番地
設 立 年 月 日	昭和 5 7 年 1 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子家庭等及び父子家庭並びに寡婦の生活・子育てその他の電話相談及び面談相談に関する事業 ・ 母子家庭等及び父子家庭並びに寡婦の就業自立を支援するための相談会、講習会、研修等の事業 ・ 母子家庭等及び父子家庭並びに寡婦の福祉の向上を推進するための事業 ・ 母子家庭等及び父子家庭並びに寡婦の福祉についての調査・研究・発表・広報・出版などの事業 ・ 「ひとり親家庭支援センター」の管理・運営に関する事業 ・ 児童館の管理・運営に関する事業 ・ 京都市子育て支援活動いきいきセンター事業の管理・運営に関する事業 ・ 児童健全育成事業、子育て支援の推進に関する事業 ・ 介護保険外サービスの提供に関する事業 ・ 物品販売事業 ・ その他目的を達成するのに必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市岩倉南児童館ほか 1 施設 (計 2 施設)

4 事業計画及び収支計画の概要

- (1) 事業計画の概要
- ア 活動を通して子どもたちを健やかにはぐくみ、子どもたちの権利を尊重、擁護し、自立を支援する。
- イ 子どもだけでなく大人も利用しやすい、敷居の低い施設づくりを行う。
- ウ ひとり親家庭の地域における生活の安全と安心を支える。
- エ 京都市のひとり親家庭のための総合福祉拠点を目指す。

(2) 収支計画の概要

ア 京都市葵児童館

(単位：円)

		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
収入	委託料	42,485,000	43,076,000	43,887,000	44,451,000	44,978,000	45,880,000
	利用料	12,770,000	12,770,000	12,770,000	12,770,000	12,770,000	12,770,000
	収入合計	55,255,000	55,846,000	56,657,000	57,221,000	57,748,000	58,650,000
支出	人件費	48,205,000	48,796,000	49,607,000	50,171,000	50,698,000	51,600,000
	事業費	7,050,000	7,050,000	7,050,000	7,050,000	7,050,000	7,050,000
	支出合計	55,255,000	55,846,000	56,657,000	57,221,000	57,748,000	58,650,000

イ 京都市ひとり親家庭支援センター

(単位：円)

		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
収入	委託料	24,300,000	24,300,000	24,300,000	24,300,000	24,300,000	24,300,000
	利用料	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	収入合計	24,550,000	24,550,000	24,550,000	24,550,000	24,550,000	24,550,000
支出	人件費	17,750,000	17,750,000	17,750,000	17,750,000	17,750,000	17,750,000
	事業費	6,800,000	6,800,000	6,800,000	6,800,000	6,800,000	6,800,000
	支出合計	24,550,000	24,550,000	24,550,000	24,550,000	24,550,000	24,550,000

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会	<ul style="list-style-type: none"> 効率的かつ計画的な運営が期待できる。 総合的に判断すると児童館として適切な運営を継続しており、よりよい事業の展開を行おうという意欲も感じられる。特にひとり親家庭に対する支援は、社会動向にも合致しており、これからますますその意義を増すと思う。 ひとり親家庭支援センターの方は令和6年度より、離婚を考えている人も対象にするようになり、ひとり親になる前も後も続いて支援できる体制があることは当事者にとって非常に心強く感じられるのではないか。児童館と併設し、同場所で運営することで、相談のしやすさ、安心感もあると思う。 過去の実績を踏まえ、計画を着実に遂行される点が評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		一般社団法人京都市 ひとり親家庭福祉連合会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	26.00
	小計	38	36.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	17.75
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.50
合計		106	103.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	97.6

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 子どもたちが安心できる居場所・相談場所として機能している。また、ひとり親家庭支援センターの取組は非常に高く評価できる。あえて言えば、個別のイベントだけでなく、児童館運営に関して子どもたちが話し合いを行う公的な仕掛け（子ども会議）などが拡充される方が望ましいと思う。他には児童館運営協議会の設立が進むことが望ましいように思う。
- 質の向上のためにはやはり職員の研修により個々のスキルアップが必須となる。外部開催の研修に積極的に参加されていると思うが、法人内の「研修委員会」が中心となり、自施設に必要な研修を内部で企画、開催することで、より施設独自のサービス向上につながっていくのではないかと。
- 外部評価で指摘された「子どもの参画の仕組み」については、行事前の協議や役割分担を通じて一定の改善が認められる。一方で、「児童館運営協議会の設立」については具体的な取組がまだ示されていないため、地域や保護者を巻き込んだ協議会の設立を検討されることが望ましい。これにより施設運営の透明性・信頼性が高まり、サービスの質向上につながると考える。

1 施設の概要

- (1) 所在地
 京都市左京区岩倉北四ノ坪町 3 5 番地
 (施設外クラス)
 京都市左京区岩倉北四ノ坪町 3 3 番地
- (2) 施設規模等
 構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
 延べ床面積 3 5 1. 5 7 平方メートル
 (施設外クラス)
 岩倉南小学校内
 延べ床面積 8 0. 0 0 平方メートル

2 指定期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 1 3 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名 (代表者名)	一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会 (代表理事 横内 美佐子)
主たる事務所の所在地	京都市左京区下鴨北野々神町 2 6 番地
設 立 年 月 日	昭和 5 7 年 1 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子家庭等及び父子家庭並びに寡婦の生活・子育てその他の電話相談及び面談相談に関する事業 ・ 母子家庭等及び父子家庭並びに寡婦の就業自立を支援するための相談会、講習会、研修等の事業 ・ 母子家庭等及び父子家庭並びに寡婦の福祉の向上を推進するための事業 ・ 母子家庭等及び父子家庭並びに寡婦の福祉についての調査・研究・発表・広報・出版などの事業 ・ 「ひとり親家庭支援センター」の管理・運営に関する事業 ・ 児童館の管理・運営に関する事業 ・ 京都市子育て支援活動いきいきセンター事業の管理・運営に関する事業 ・ 児童健全育成事業、子育て支援の推進に関する事業 ・ 介護保険外サービスの提供に関する事業 ・ 物品販売事業 ・ その他目的を達成するのに必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市葵児童館ほか 1 施設 (計 2 施設)

4 事業計画及び収支計画の概要

- (1) 事業計画の概要
- ア 活動を通して子どもたちを健やかにほぐくみ、子どもたちの権利を尊重、擁護し、自立を支援する。
- イ 子どもだけでなく大人も利用しやすい、敷居の低い施設づくりを行う。
- ウ 子育ての仲間を広げ、子育て家庭を支援し、子育ての社会連帯を推進する。
- エ 地域と連携を図り、つながりを大切にする地域社会を創造し共生の街づくりを推進する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収入	委託料	56,397,000	57,276,000	57,933,000	58,603,000	59,697,000
	利用料	12,770,000	12,770,000	12,770,000	12,770,000	12,770,000
	収入合計	69,167,000	70,046,000	70,703,000	71,373,000	72,467,000
支出	人件費	59,787,000	60,666,000	61,323,000	61,993,000	62,587,000
	事業費	9,380,000	9,380,000	9,380,000	9,380,000	9,880,000
	支出合計	69,167,000	70,046,000	70,703,000	71,373,000	72,467,000

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	一般社団法人 京都市ひとり 親家庭福祉連 合会	<ul style="list-style-type: none"> 効率的かつ計画的な運営が期待できる。 総合的に判断すると児童館として適切な運営を継続しており、よりよい事業の展開を行おうという意欲も感じられる。特に子どもたちが児童館に主体的に参加できる機会を設けている点が非常に素晴らしい。 子どものことはもちろん、親にも照準をあて、家庭を包括的に支援していく取組は今後ますます増えていくと思う。特にひとり親家庭の当事者団体が運営する施設ということもあり、特に支援が必要な家庭に配慮と細やかな支援をされていると感じた。今後ますます利用者の声をサービスに反映して質の向上に取り組まれることを望む。 過去の実績を踏まえ、計画を着実に遂行される点が評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		一般社団法人京都市 ひとり親家庭福祉連合会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	26.00
	小計	38	36.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	104.00
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	98.1

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 子どもたちが安心できる居場所・相談場所として機能している。あえて言えば、中・高生などの年齢の高い層のニーズをどう捉えていくかが運営の課題と言えそうである。またその際、中学生以降の時期に自覚されることが多い社会的マイノリティー（LGBTQなど）の生きづらさや相談・連帯に関する情報発信がもう少しあると有難いと思う。他には児童館運営協議会の設立が進むことが望ましいように思う。
- 保護者のニーズ聞き取りを定期的に行っているが、途中で入所される方のことを考えると、時期を限定せずに随時受け付けできるような仕組み（例えばご意見箱など）があれば良いと思う。
- 外部評価において指摘された中高生世代の利用促進については、ボランティアや交流事業など参加のきっかけを広げる取組が行われており、その姿勢は評価できる。もっとも、本来の課題は「中高生が継続的に安心して過ごせる居場所の確保」であるため、単発的な企画にとどまらず、日常的に立ち寄れる空間や継続的な活動の仕組みづくりを検討されることを期待する。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市中京区壬生松原町 1 9 番地の 2
(施設外クラス)
京都市中京区壬生松原町 1 9 番地の 2
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造平家建て
延べ床面積 222.44 平方メートル
(施設外クラス)
朱三自治会館内
延べ床面積 23.99 平方メートル

2 指定期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都保育センター（理事長 藤井 修）
主たる事務所の所在地	京都市北区大將軍坂田町 8 番地の 1
設 立 年 月 日	昭和 51 年 1 月 8 日
現 在 の 基 本 財 産	建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所くりのみ保育園の設置運営 ・ 保育所たかつかさ保育園の設置運営 ・ たかつかさ児童館の設置運営 ・ 京都市西京極児童館の指定管理 ・ 京都市御室児童館の指定管理 ・ 京都市朱雀第三児童館の指定管理 ・ 放課後児童健全育成事業 ・ 地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 企業主導型保育事業の受託
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市西京極児童館ほか 1 施設（計 2 施設）

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 子どもも大人も安心して自分らしく生きることを肯定できる居場所づくりを目指す。
- イ 子どもたちが集団の中で自治を育み、互いに認め合うことができる関係づくりの支援に努める。
- ウ 同じ課題のある保護者をつなぎ、ともに支えあい育つことのできる仲間づくりの支援に努める。
- エ 顔が見える関係づくりを行い、相互連携を広げ、子どもや子育て家庭が安心して過ごすことのできる地域づくりに貢献する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
収入	委託料	36,670,000	31,910,000	32,630,000	33,510,000	34,060,000
	利用料	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000
	収入合計	46,670,000	41,910,000	42,630,000	43,510,000	44,060,000
支出	人件費	31,670,000	26,910,000	27,630,000	28,510,000	29,060,000
	事業費	15,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,000
	支出合計	46,670,000	41,910,000	42,630,000	43,510,000	44,060,000

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 京都保育センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの意見表明権を非常に大切にしており、高評価。 ・ 総合的に判断すると極めて高い水準で運営が行われていると感じる。特に、「子どもの権利条約」など基本的な枠組みをきちんと理解し、具体化している姿勢は素晴らしい。加えてマイノリティへの視座を有していることも大変意義がある。 ・ 各項目について、第三者が見ても分かりやすく、方針や総括などまとめられていると思う。今後の運営について、少子化による利用者数の減少や職員の確保など見通しにくい部分があると思うが、各年で運営を振り返り事業を継続させていただけると良いと思う。 ・ 地域に根差した取組であり、安定的に継続されることが期待できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都保育センターを指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都保育センター
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	25.75
	小計	38	35.75
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.75
合計		106	103.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	97.6

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- LGBTQ など社会の中で理解の進みにくい課題に関しては、積極的に取り組まれている「職員の意識向上」に加え、特に当事者の子どもたちに対して、その子が自己理解を深めたり、社会の中で承認・支援されていると実感できたりするような情報発信をしていただけると心強い。
- 施設や法人内のみで事業の実施や総括をするのではなく、多様な外部専門家や地域の子育てに関わる施設とともに運営を計画、実施、反省を行うことでより質の確保や向上が期待できると思う。
- 外部評価については直近の受診が平成 31 年度であり、令和 6 年度に申込がなされている。「過去 3 年間に受診したか」との質問は、3 年ごとの受診を想定しているとも読み取れるため、今後はそのサイクルでの受診を継続し、結果を運営改善に活かされることを期待する。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市山科区厨子奥苗代元町 3 1 番地
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 365.00 平方メートル

2 指定期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人洛和福祉会（理事長 矢野 裕典）
主たる事務所の所在地	京都市伏見区桃山町大島 3 8 番地の 5 2 8
設 立 年 月 日	平成 9 年 2 月 6 日
現 在 の 基 本 財 産	土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別養護老人ホームの経営 ・ 障害者支援施設の経営 ・ 老人短期入所事業の経営 ・ 老人デイサービス事業の経営 ・ 老人介護支援センターの経営 ・ 老人居宅介護等事業の経営 ・ 障害福祉サービス事業の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営 ・ 保育所の経営 ・ 一時預かり事業の経営 ・ 小規模多機能型居宅介護事業の経営 ・ 放課後児童健全育成事業の経営 ・ 児童厚生施設の経営 ・ 特定相談支援事業の経営 ・ 小規模保育事業の経営 ・ 障害児通所支援事業の経営 ・ 移動支援事業の経営 ・ 障害児相談支援事業の経営 ・ 乳児等通園支援事業の経営 ・ 居宅介護支援事業 ・ 訪問看護事業 ・ 介護老人保健施設事業 ・ 大塚地域包括支援センター及び分室の設置経営 ・ シルバーピア坂下通り等の生活援助業務の経営 ・ 介護保険法に基づく第 1 号訪問事業 ・ 介護保険法に基づく第 1 号通所事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市大塚児童館ほか 2 施設（計 3 施設）

4 事業計画及び収支計画の概要

- (1) 事業計画の概要
- ア 利用者の行動を推測し、組織的、計画的に安全な児童館づくりを行う。
- イ 同年代の乳幼児の保護者同士が交流することができる取組を企画し、子育て世帯の孤立感が解消されるように努める。
- ウ 学童クラブ事業では保護者の就労等を支え、親としての役割が果たせるよう支援に努める。
- エ 子どもの意見尊重や健全な成長を支える環境整備を目指し、子ども達の視点で主体となる活動を応援する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収入	委託料	27,588,144	28,433,376	29,325,120	30,234,198	31,171,459
	利用料	9,052,100	9,052,100	9,052,100	9,052,100	9,052,100
	収入合計	36,640,244	37,485,476	38,377,220	39,286,298	40,223,559
支出	人件費	27,588,144	28,433,376	29,325,120	30,234,198	31,171,459
	事業費	9,052,100	9,052,100	9,052,100	9,052,100	9,052,100
	支出合計	36,640,244	37,485,476	38,377,220	39,286,298	40,223,559

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 洛和福祉会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流動比率が低いこと等を踏まえ、資金繰りには御留意いただきたい。 ・ 小中学校、高校との交流、それも障害を有する生徒たちとの交流が盛んに行われており、評価できる。医療、介護分野の施設も運営しており、それぞれの専門職や強みを活かし、研修の講師を派遣し合う等している点も評価できる。 ・ 総合支援学校の高校生と乳幼児親子の交流事業は、とても素晴らしい取組であり、学童クラブの児童も総合支援学校へ足を運ぶ機会ができたことは、貴重な成果だと感じる。母体である医療・介護分野からの研修講師の巡回指導・支援といったサポートが手厚い点も心強い。 ・ 発達障害の児童に対応できるように、法人内の公認心理師や臨床心理士が巡回して支援しているところが評価できる。 ・ 障害のある高校生が関わるができるように、特別支援学校との交流を図り、障害のある小学生や中学生にも拡大していこうとしている点が評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人洛和福祉会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 洛和福社会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	26.00
	小計	38	36.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	104.00
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	98.1

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- ・ スケールメリットを活かした施策となっており期待できる。
- ・ 人権尊重のためのセルフチェックはとても大切な取組。チェック項目の中に、他の職員の良い言動について報告する項目を設け、皆で共有すれば、働き甲斐の向上などにも繋がるのではないかと思う。
- ・ 営利目的の幼児教室とは違い、「自宅ではできない、児童館だからこそ」という考え方に基づいて、利用者目線での設備充実に努めておられる点を評価したい。また、子ども自身の自衛力を高め、安全教育的活動に力を入れておられる点も、今必要な取組だと感じる。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市南区吉祥院三ノ宮町106番地
(施設外クラス)
京都市南区吉祥院三ノ宮町23番地
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造2階建て
延べ床面積 305.76平方メートル
(施設外クラス)
祥豊小学校内
延べ床面積 64.00平方メートル

2 指定期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人清和園（理事長 吉瀬 純一）
主たる事務所の所在地	京都市南区久世川原町79番地
設 立 年 月 日	昭和34年4月13日
現 在 の 基 本 財 産	土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養護老人ホームの経営 ・ 特別養護老人ホームの経営 ・ 特別養護老人ホームの指定管理 ・ 老人居宅介護等事業の経営 ・ 老人デイサービス事業の経営 ・ 老人短期入所事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの指定管理 ・ 老人介護支援センターの経営 ・ 放課後児童健全育成事業の経営 ・ 地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 児童厚生施設の経営 ・ 児童厚生施設の指定管理 ・ 障害福祉サービス事業の経営 ・ 特定相談支援事業の経営 ・ 老人福祉センターの指定管理 ・ 生計困難者のために、無料又は低額な料金で診療を行う事業の経営 ・ 居宅介護支援事業 ・ 介護職員養成研修等事業 ・ 特定施設入居者生活介護事業所 ・ 地域支援事業を市町村から受託して実施する事業 ・ サービス付き高齢者向け住宅の経営 ・ 訪問看護事業 ・ 福祉用具貸与事業 ・ 特定福祉用具販売事業 ・ 住宅改修事業 ・ 診療所の事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市吉祥院児童館ほか1施設（計2施設）

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 児童の出会いの機会や体験を広げ、児童が主体的に関わることで自主性、社会性、創造性を養う。
- イ 保護者が主体的に関わることで保護者同士のつながりを深めることができるよう支援する。
- ウ 子育てに必要な情報の提供と情報交換ができる場を作り、子育て支援機能の充実に努める。
- エ 親子相互の交流を図り、子育てを支えあうことができるネットワーク形成に努める。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収入	委託料等	37,393,800	38,260,191	38,744,381	39,316,957	39,704,455
	利用料	10,294,200	10,294,200	10,294,200	10,294,200	10,294,200
	収入合計	47,688,000	48,554,391	49,038,581	49,611,157	49,998,655
支出	人件費	31,147,340	32,013,731	32,497,921	33,070,497	33,457,995
	事業費	16,540,660	16,540,660	16,540,660	16,540,660	16,540,660
	支出合計	47,688,000	48,554,391	49,038,581	49,611,157	49,998,655

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人清和園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内部監査の項目が細かく設定されており内部牽制機能が維持できているように思う。 ・ 詳細な項目で内部監査をしていること、危機・安全管理面では分かりやすいフローを作成していること、障害のある子の受け入れに際しての留意点について詳細に検討していることなど、施設運営のきめ細やかさが特に評価できる。また、中高生の児童館利用に配慮し、6年生アンケートを行うなど、幅広い年齢層にとっての居場所になろうという努力も評価できる。 ・ 遊び方や後片付けのルールについて、障害のある児童にも分かりやすくするため、絵や写真にして掲示している点など、子どもたち自身で事故防止の抑制を行えるようサポートされている点を評価したい。70年以上社会福祉事業に取り組まれている法人であり、多くの経験を生かした運営がなされていると感じる。 ・ コンプライアンスの徹底を図るための内部監査が行われており、その監査項目も事業運営すべてを網羅する形で定められていることが評価できる。 ・ 児童に関わる地域関係機関を構成員とした運営協力委員会を開催し、事業運営に活かしている点が評価できる。 ・ 利用者の意見を、苦情・意見・提案・要望に分け、それぞれを定義付けすることで、訴えに対して適切に対応できる点が評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人清和園を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 清和園
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	27.25
	小計	38	37.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	7.75
	2 応募施設の事業計画	18	17.75
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.75
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.25
合計		106	104.25
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	98.3

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 業務マニュアルの見直しを複数にわたってされており、多数の施設を運営するにあたって統一的な運営を行おうとされていることに評価できる。
- 業務マニュアルか研修実施要領に記載があるのかもしれないが、金銭管理に関する研修、社会福祉法人会計に関する会計まわりの研修も実施されるとより良いように思う。
- ヒヤリハットを集約するだけではなく、分析する検討会をもたれている点は、とても重要であると思われるので、検討会に際しては外部の目、視点を入れていくことも検討されたい。
- 乳幼児の保護者から、「離乳食のことについて話が聞きたい」という要望を受け、法人内高齢者施設の管理栄養士が子育て支援講演会を実施するなど、利用者の声を取り入れて柔軟な対応をされている。他施設との人材交流という利点もあり、とても良い取組だと感じる。
- これまでの事業運営を継続していただきたいと思う。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市右京区太秦京ノ道町20番地の1
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造3階建て（1階部分）
延べ床面積 309.18平方メートル

2 指定期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人宏量福祉会（理事長 芹澤 出）
主たる事務所の所在地	京都市右京区山ノ内宮脇町9番地の2
設 立 年 月 日	昭和55年1月24日
現 在 の 基 本 財 産	土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子生活支援施設 野菊荘の経営 ・ 京都市山ノ内児童館の経営 ・ 京都市常磐野児童館の経営 ・ 放課後児童健全育成事業の経営 ・ 地域子育て支援拠点事業の経営
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市山ノ内児童館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 日常の生活や遊びが、広く豊かな体験、経験となるよう積極的に機会を作り、意欲的に行事や取組へ参加できるよう促す。
- イ 家族での児童館利用を促進し、家族の絆や家族同士の交流を深め、地域における子育て家庭のネットワークづくりに努める。
- ウ 地域の行事に積極的に参加し、相互に協力ができるよう関係性を深め、地域の活性化に努める。
- エ 学童クラブ事業では縦割りの異年齢集団での生活と遊びを通して、子どもの生きる力を育み、自立を促す。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収入	委託料	24,996,164	25,575,549	26,191,650	26,779,107	27,460,573
	利用料	10,303,100	10,303,100	10,303,100	10,303,100	10,303,100
	収入合計	35,299,264	35,878,649	36,494,750	37,082,207	37,763,673
支出	人件費	26,627,166	27,206,551	27,822,652	28,410,109	29,091,575
	事業費	8,672,098	8,672,098	8,672,098	8,672,098	8,672,098
	支出合計	35,299,264	35,878,649	36,494,750	37,082,207	37,763,673

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 宏量福祉会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査の文書指摘があるものの重要性を鑑みると軽微な指摘であり、かつ、不祥事もないことが評価できる。流動比率も非常に高く安全性があると評価できる。 ・ 様々な世代の人が参加できる多彩なイベントを開催しており、そこに中高生が参加し、あるいはボランティアやスタッフとして参画していること、保護者の継続的な繋がりづくりを助ける取組を実施し、その繋がりの中で将来の児童館を支える存在が生まれていること等が、特に評価できる。 ・ 家庭ではなかなか取り組みにくい実験や工作を通して、科学の驚きやものづくりの楽しさを体験する機会を設けられている。障害のある児童や配慮の必要な児童も参加しやすいよう、少人数制のクラブ活動で環境が整えられていると思う。様々な季節行事も写真を通して明るい雰囲気が伝わってきた。 ・ 児童館の成り立ちから、元々運営に関わっていた地域の各種関係団体が構成メンバーである運営協力会を立ち上げ、現在でも積極的に関与してもらっている点が評価できる。 ・ コロナ禍の学校休校中の時も出張児童館として、職員を派遣するなど、感染状況に応じて柔軟に対応している点が評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人宏量福祉会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 宏量福社会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	27.25
	小計	38	37.25
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	105.25
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	99.3

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 施設長研修の中に含まれているか分からないが、会計リテラシーを向上する研修（会計基準の把握、金銭管理方法の徹底）も実施していただきたい。
- 定期的に自らのサービスの内容を評価し、改善していくことができるよう、スキームを整理されたい。
- 施設内・法人内にとどまらず、京都市児童館学童連盟などでの外部研修を積極的に受講し、人材のスキルアップに努められている。また、職員だけでなく介助者にも研修会への参加を促すことで、障害のある児童への理解や職員との共通理解につなげられている点も評価したい。
- 苦情はなかったとの記載があったが、利用者の意見・要望の中には苦情と捉えられる内容もあったのではないかと。利用者や保護者の意見をどのように捉えて対応するのか、規程等で明確にすることが必要だと思われる。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市右京区西京極西池田町13番地の6
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造10階建て（2階部分）
延べ床面積 216.00平方メートル

2 指定期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都保育センター（理事長 藤井 修）
主たる事務所の所在地	京都市北区大將軍坂田町8番地の1
設 立 年 月 日	昭和51年1月8日
現 在 の 基 本 財 産	建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所くりのみ保育園の設置運営 ・ 保育所たかつかさ保育園の設置運営 ・ たかつかさ児童館の設置運営 ・ 京都市西京極児童館の指定管理 ・ 京都市御室児童館の指定管理 ・ 京都市朱雀第三児童館の指定管理 ・ 放課後児童健全育成事業 ・ 地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 企業主導型保育事業の受託
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市朱雀第三児童館ほか1施設（計2施設）

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 子どもも大人も安心して自分らしく生きることを肯定できる居場所づくりを目指す。
- イ 子どもたちが集団の中で自治を育み、互いに認め合うことができる関係づくりの支援に努める。
- ウ 同じ課題のある保護者をつなぎ、ともに支えあい育つことのできる仲間づくりの支援に努める。
- エ 顔が見える関係づくりを行い、相互連携を広げ、子どもや子育て家庭が安心して過ごすことのできる地域づくりに貢献する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収入	委託料	44,219,393	44,705,698	45,073,186	45,503,575	45,864,939
	利用料	8,493,000	8,493,000	8,493,000	8,493,000	8,493,000
	収入合計	52,712,393	53,198,698	53,566,186	53,996,575	54,357,939
支出	人件費	37,233,493	37,719,798	38,087,286	38,517,675	38,879,039
	事業費	15,478,900	15,478,900	15,478,900	15,478,900	15,478,900
	支出合計	52,712,393	53,198,698	53,566,186	53,996,575	54,357,939

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 京都保育センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの意見表明権を非常に大切にしており、高評価。 ・ 総合的に判断すると極めて高い水準で運営が行われていると感じる。特に「子どもの権利条約」など基本的な枠組みをきちんと理解し、具体化している姿勢は素晴らしい。加えてマイノリティへの視座を有していることも大変意義がある。 ・ 各項目について、第三者が見ても分かりやすく、方針や総括などまとめられていると思う。今後の運営について、少子化による利用者数の減少や職員の確保など見通しにくい部分があると思うが、各年で運営を振り返り事業を継続させていただけると良いと思う。 ・ 地域に根差した取組であり、安定的に継続されることが期待できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都保育センターを指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都保育センター
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	25.75
	小計	38	35.75
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.75
	合計	106	103.50
	合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)	100	97.6

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- LGBTQ など社会の中で理解の進みにくい課題に関しては、積極的に取り組まれている「職員の意識向上」に加え、特に当事者の子どもたちに対して、その子が自己理解を深めたり、社会の中で承認・支援されていると実感できたりするような情報発信をしていただけると心強い。
- 施設や法人内のみで事業の実施や総括をするのではなく、多様な外部専門家や地域の子育てに関わる施設とともに運営を計画、実施、反省を行うことでより質の確保や向上が期待できると思う。
- 外部評価については直近の受診が平成 31 年度であり、令和 6 年度に申込がなされている。「過去 3 年間に受診したか」との質問は、3 年ごとの受診を想定しているとも読み取れるため、今後はそのサイクルでの受診を継続し、結果を運営改善に活かされることを期待する。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市右京区花園天授ヶ岡町3番地の15
(施設外クラス)
京都市右京区花園天授ヶ岡町3番地の15
- (2) 施設規模等
構造 鉄筋コンクリート造2階建て(2階部分)
延べ床面積 144.40平方メートル
(施設外クラス)
御室会議室
延べ床面積 35.20平方メートル

2 指定期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名(代表者名)	社会福祉法人京都保育センター(理事長 藤井 修)
主たる事務所の所在地	京都市北区大將軍坂田町8番地の1
設立年月日	昭和51年1月8日
現在の基本財産	建物
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所くりのみ保育園の設置運営 ・ 保育所たかつかさ保育園の設置運営 ・ たかつかさ児童館の設置運営 ・ 京都市西京極児童館の指定管理 ・ 京都市御室児童館の指定管理 ・ 京都市朱雀第三児童館の指定管理 ・ 放課後児童健全育成事業 ・ 地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 企業主導型保育事業の受託
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市朱雀第三児童館ほか1施設(計2施設)

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 子どもも大人も安心して自分らしく生きることを肯定できる居場所づくりを目指す。
- イ 子どもたちが集団の中で自治を育み、互いに認め合うことができる関係づくりの支援に努める。
- ウ 同じ課題のある保護者をつなぎ、ともに支えあい育つことのできる仲間づくりの支援に努める。
- エ 顔が見える関係づくりを行い、相互連携を広げ、子どもや子育て家庭が安心して過ごすことができる地域づくりに貢献する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収入	委託料等	33,000,000	33,400,000	33,787,000	34,175,000	34,708,000
	利用料	8,640,000	8,640,000	8,640,000	8,640,000	8,640,000
	収入合計	41,640,000	42,040,000	42,427,000	42,815,000	43,348,000
支出	人件費	30,775,000	31,175,000	31,562,000	31,950,000	32,483,000
	事業費	10,865,000	10,865,000	10,865,000	10,865,000	10,865,000
	支出合計	41,640,000	42,040,000	42,427,000	42,815,000	43,348,000

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 京都保育センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの意見表明権を非常に大切にしており、高評価。 ・ 総合的に判断すると極めて高い水準で運営が行われていると感じる。特に「子どもの権利条約」など基本的な枠組みをきちんと理解し、具体化している姿勢は素晴らしい。加えてマイノリティへの視座を有していることも大変意義がある。 ・ 各項目について、第三者が見ても分かりやすく、方針や総括などまとめられていると思う。今後の運営について、少子化による利用者数の減少や職員の確保など見通しにくい部分があると思うが、各年で運営を振り返り事業を継続させていただけると良いと思う。 ・ 地域に根差した取組であり、安定的に継続されることが期待できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都保育センターを指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都保育センター
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	25.75
	小計	38	35.75
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.75
合計		106	103.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	97.6

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- LGBTQ など社会の中で理解の進みにくい課題に関しては、積極的に取り組まれている「職員の意識向上」に加え、特に当事者の子どもたちに対して、その子が自己理解を深めたり、社会の中で承認・支援されていると実感できたりするような情報発信をしていただけると心強い。
- 施設や法人内のみで事業の実施や総括をするのではなく、多様な外部専門家や地域の子育てに関わる施設とともに運営を計画、実施、反省を行うことでより質の確保や向上が期待できると思う。
- 外部評価については直近の受診が平成 31 年度であり、令和 6 年度に申込がなされている。「過去 3 年間に受診したか」との質問は、3 年ごとの受診を想定しているとも読み取れるため、今後はそのサイクルでの受診を継続し、結果を運営改善に活かされることを期待する。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市西京区下津林東般若町 4 4 番地
(施設外クラス)
京都市西京区下津林東般若町 4 4 番地
- (2) 施設規模等
構 造 木造平屋建て
延べ床面積 232.47 平方メートル
(施設外クラス)
川岡東小学校内
延べ床面積 64.00 平方メートル

2 指定期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人積慶園（理事長 古村 正哉）
主たる事務所の所在地	京都市西京区樫原角田町 1 番地の 4 2
設 立 年 月 日	昭和 40 年 4 月 5 日
現 在 の 基 本 財 産	土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童養護施設 積慶園の設置経営 ・ 乳児院 積慶園の設置経営 ・ 児童厚生施設 京都市嵯峨野児童館の指定管理 ・ 児童厚生施設 京都市桂徳児童館の指定管理 ・ 児童厚生施設 京都市川岡東児童館の指定管理 ・ 地域子育て支援拠点事業の受託 ・ 放課後児童健全育成事業 ・ 子育て短期支援事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市嵯峨野児童館ほか 1 施設（計 2 施設）

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 楽しくほっとできる居場所を作り、地域の方々とのつながりをつくる。
イ 子どもの意見を尊重し、最善の利益を優先し、遊びを通じて成長を促す。
ウ 子どもを真ん中に、地域の方々とのつながりの輪をつくる。
エ 子どもたちの安心、安全な居場所づくりに努める。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
収入	委託料等	39,442,550	40,322,328	41,082,673	41,833,572	42,532,997
	利用料	11,234,500	11,234,500	11,234,500	11,234,500	11,234,500
	収入合計	50,677,050	51,556,828	52,317,173	53,068,072	53,767,497
支出	人件費	30,828,650	31,708,428	32,468,773	33,219,672	33,919,097
	事業費	19,848,400	19,848,400	19,848,400	19,848,400	19,848,400
	支出合計	50,677,050	51,556,828	52,317,173	53,068,072	53,767,497

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人積慶園	<ul style="list-style-type: none"> 内部監査を実施しているところは良好な運営を実施していくために必要だと思うので評価できる。また、利用者アンケートも実施し、クレームがあってもすぐに対応できる姿勢が評価できる。 利用者の意見を様々な機会、方法で拾い上げ、速やかに対応、改善に繋げているところが特に評価できる。また、苦情解決窓口やコンプライアンスの推進について、制度や規定を策定するだけにとどまらず、積極的に情報を開示し、周知徹底に努めているところも評価できる。法改正にも迅速に対応していると感じた。 各種ハラスメント防止に関する取組を積極的に行っている点を評価する。相談・苦情への対応にも明確なフローチャートがあり、コンプライアンス学習会等を通して、各人の人権意識を高める努力がなされている。 地域住民との交流機会を多く確保し、企業との共催で行っている事業がある点が評価できる。 子どもの意見を取り入れるために、意見箱の設置、子ども会議、年1回のアンケートなど、複数の方法で把握している点が評価できる。 職員研修も体系化されている点も評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人積慶園を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人積慶園
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	22.00
	小計	38	32.00
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	17.75
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.50
合計		106	99.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	93.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

- (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見
- 年間計画の見直し、改善、再立案が月一の職員会議等で行われているところに評価できる。ただし、会計リテラシーに関する研修は実施されていないようであり、現に令和 5 年度は給付金の長期預かりの指摘、令和 6 年度には社会福祉法の法人運営に関する理解不足が指摘されていることから、現金現物に対する管理方法の再考を図られ、対象者への社会福祉法関係の周知を図られる方が望ましい。
 - 苦情への対応が表面的であるように感じる。職員の日頃の対応や接し方に問題がなかったか、職員の対応に問題はなかったのかなど、発生した事象の根本原因を探り、対応していただきたい。
 - 利用者アンケートからの要望を反映した事例が複数あり、ニーズを熱心に捉えようとしている姿勢は高く評価できる。また、過去 3 年間に集団感染が発生していないという点も、日頃から感染症・食中毒への対策が徹底されているといえる。
 - これまでの取組や事業運営を引き続き行っていただければと思う。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市伏見区桃山町伊庭 1 6 番地
(施設外クラス)
京都市伏見区桃山町伊庭 1 2 番地
- (2) 施設規模等
構 造 木造平屋建て
延べ床面積 221.60 平方メートル
(施設外クラス)
桃山東小学校内
延べ床面積 40.00 平方メートル

2 指定期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人曙福社会（理事長 矢島 里美）
主たる事務所の所在地	京都市伏見区醍醐大構町 1 番地の 5
設 立 年 月 日	昭和 41 年 6 月 14 日
現 在 の 基 本 財 産	土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軽費老人ホームの経営 ・ 幼保連携型認定こども園の経営 ・ 保育所の経営 ・ 小規模保育事業の経営 ・ 一時預かり事業の経営 ・ 児童厚生施設の経営 ・ 放課後児童健全育成事業の経営 ・ 地域子育て支援拠点事業の経営
他の本市児童館での指定管理の実績	なし

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 子どもの年齢、発達に応じて意見を尊重する。
イ 子どもの自発的活動を継続的に支援し、子どもの意見を運営に活かすよう努める。
ウ 貧困家庭や障害のある児童など、誰もが気兼ねなく参加できる事業を推進する。
エ 利用者が安全に利用できるよう避難訓練や感染症防止に努める。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
収入	委託料	27,796,933	28,207,980	28,615,723	28,955,758	29,234,239
	利用料	11,844,000	11,844,000	11,844,000	11,844,000	11,844,000
	収入合計	39,640,933	40,051,980	40,459,723	40,799,758	41,078,239
支出	人件費	29,395,659	29,806,706	30,214,449	30,554,484	30,832,965
	事業費	10,245,274	10,245,274	10,245,274	10,245,274	10,245,274
	支出合計	39,640,933	40,051,980	40,459,723	40,799,758	41,078,239

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人曙福社会	<ul style="list-style-type: none"> 監査の文書指摘、不祥事のいづれもなく、安定的な運営がされているところは評価できる。 コンプライアンスといえば法令遵守であるが、単に法令に違反しないというだけではなく、法人内のルールや社会福祉に携わる者としての倫理等に反することのないようにするという決意で取り組まれている点が特に評価できる。苦情解決についても、場当たり的ではなく、非常に丁寧かつ継続的で、連携すべき機関とも速やかに連携する等、適切に行われていると感じた。 鉛筆を持って移動すると、座っているほかの児童の目の位置になるので筆箱に入れて移動するよう指導するなど、事故防止にかかる研修・訓練体制に力を入れておられる。どのような理由があるから危険なのか、子どもたち自身にもしっかりと説明したうえでルール作りをされていると感じる。 子どもの人権を守るために、いじめなどのニュースを職員間で共有するなどを行い、小学校や保護者に状況把握を行い対応している点が評価できる。 災害訓練を月1回行い、発生時に対応できるように備えている点が評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人曙福社会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人曙福社会
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	27.50
	小計	38	37.50
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	7.75
	2 応募施設の事業計画	18	17.50
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.75
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.00
合計		106	104.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	98.6

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 施設長連絡会議が月1回あるようだが、そこではぜひ会計リテラシーを向上させる研修を実施いただきたい。
- 日頃から「いじめを許さない」という働きかけをしており、とても重要と考えるが、一般的に「いじめ」と聞いて想起するような重大な事象だけでなく、自らの意図に関わらず相手が不愉快に思うようなこともあること、不適切な心身の接触等、相手の心情や人権について考え、尊重し合えるような働きかけも更に行っていただきたい。
- 「いじめをなくす」という目標に対して、いじめられる側に立ち、毅然とした姿勢での対応を目指されている点を評価したい。第三者評価でも、子どもの権利についての職員の共通理解を持ったための取組を良い点と評されており、子ども一人ひとりを大切にされていると感じる。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市伏見区深草池ノ内町2番地
- (2) 施設規模等
構 造 鉄骨造平屋建て
延べ床面積 182.00平方メートル

2 指定期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人洛和福祉会（理事長 矢野 裕典）
主たる事務所の所在地	京都市伏見区桃山町大島38番地の528
設 立 年 月 日	平成9年2月6日
現 在 の 基 本 財 産	土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別養護老人ホームの経営 ・ 障害者支援施設の経営 ・ 老人短期入所事業の経営 ・ 老人デイサービス事業の経営 ・ 老人介護支援センターの経営 ・ 老人居宅介護等事業の経営 ・ 障害福祉サービス事業の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営 ・ 保育所の経営 ・ 一時預かり事業の経営 ・ 小規模多機能型居宅介護事業の経営 ・ 放課後児童健全育成事業の経営 ・ 児童厚生施設の経営 ・ 特定相談支援事業の経営 ・ 小規模保育事業の経営 ・ 障害児通所支援事業の経営 ・ 移動支援事業の経営 ・ 障害児相談支援事業の経営 ・ 乳児等通園支援事業の経営 ・ 居宅介護支援事業 ・ 訪問看護事業 ・ 介護老人保健施設事業 ・ 大塚地域包括支援センター及び分室の設置経営 ・ シルバーピア坂下通り等の生活援助業務の経営 ・ 介護保険法に基づく第1号訪問事業 ・ 介護保険法に基づく第1号通所事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市大塚児童館ほか2施設（計3施設）

4 事業計画及び収支計画の概要

- (1) 事業計画の概要
 - ア ノーマライゼーションの観点から障害の有無に関係なくすべての児童の受け入れを行う。
 - イ 乳幼児クラブでは、乳幼児の保護者が同年代の交流を深められるよう事業展開に努める。
 - ウ 学童クラブ事業では子どもが安心して過ごすことのできる環境を整備し、保護者の就労等生活を継続的に支援する。
 - エ アンケートを年に複数回実施し、利用者の意見や要望を広く受け取ることのできる体制づくりに努める。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収入	委託料	27,588,144	28,433,376	29,325,120	30,234,198	31,171,459
	利用料	7,430,200	7,430,200	7,430,200	7,430,200	7,430,200
	収入合計	35,018,344	35,863,576	36,755,320	37,664,398	38,601,659
支出	人件費	26,215,586	27,028,270	27,866,145	28,730,696	29,620,626
	事業費	8,802,758	8,835,306	8,889,175	8,933,702	8,981,033
	支出合計	35,018,344	35,863,576	36,755,320	37,664,398	38,601,659

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 洛和福祉会	<ul style="list-style-type: none"> 流動比率が低いこと等を踏まえ、資金繰りには御留意いただきたい。 医療、介護分野の施設も運営しており、それぞれの専門職や強みを活かし、研修の講師を派遣し合う等している点、評価できる。地域と連携しての安全Map作成や、子ども食堂の実施など、子どもの安心安全、健全育成に尽力している点も評価できる。 子ども食堂など、児童館運営協力会と密な連携をとられている。また、大正琴の演奏など、地域の特性を生かした行事があり、地域全体で児童館を見守る体制が整えられている。病気の流行時期には、菌に関する注意喚起を促されており、衛生的な指導にも力を入れておられる。 発達障害の児童に対応できるように、法人内の公認心理師や臨床心理士が巡回して支援しているところが評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人洛和福祉会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 洛和福社会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	26.00
	小計	38	36.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	104.00
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	98.1

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- ・ スケールメリットを活かした施策となっており期待できる。
- ・ 人権尊重のためのセルフチェックはとても大切な取組。チェック項目の中に、他の職員の良い言動について報告する項目を設け、皆で共有すれば、働き甲斐の向上などにも繋がるのではないかと思う。
- ・ 保護者を交えた AED 救急法や感染症予防の手洗い指導など、地域の中の頼れる場所として大きな役割を果たされている。法人の専門分野である医療・介護の強みを活かして、様々な学びの機会を提供されている点を高く評価したい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市上京区御前通今出川上る鳥居前町 6 7 1 番地 (翔鸞小学校敷地内)
(施設外クラス)
同 上
- (2) 施設規模等
構 造 木造平屋建て
延べ床面積 88.56 平方メートル
(施設外クラス)
翔鸞小学校内
延べ床面積 160.00 平方メートル

2 指定期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名 (代表者名)	京都市学童保育所管理委員会 (会長 岡崎 弘)
主たる事務所の所在地	京都市南区東九条東山王町 2 7 番地
設 立 年 月 日	昭和 46 年 7 月 17 日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	放課後児童健全育成事業としての施設を受託運営
他の本市学童保育所での指定管理の実績	京都市修学院学童保育所ほか 6 施設 (計 7 施設)

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 遊びや活動を通して子どもたちが達成感や所属感を得られるように援助することが大切であることから、自然体験や所外活動等、多様な取組を実施するとともに、異なる年齢の子ども同士が関わり合える事業を行うことで、横や縦のつながりを深めつつ、子どもたちの社会性を養成し、自立の促進を図る。
- イ 学童保育所は放課後の生活の場として、重要な役割を担っていることから、子どもたちが安心して過ごせる温かい雰囲気づくりに努めるとともに、安全・衛生管理を徹底し、子どもたちの健康状態や心理面に配慮しながら、挨拶や整理整頓といった基本的な生活習慣の確立を支援する。
- ウ 保護者と子どもの様子や活動状況を積極的に情報交換し、懇談会や親子行事を通じて保護者同士の仲間作りを援助するとともに、小学校や専門機関、地域の関係団体と緊密な連携を図ることで、地域全体で子育てを支えるネットワークを構築する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
収入	委託料	19,892,305	20,695,696	21,574,431	22,463,638	23,364,247
	利用料	10,918,425	11,464,346	12,037,563	12,639,441	13,271,413
	収入合計	30,810,730	32,160,042	33,611,994	35,103,079	36,635,660
支出	人件費	11,381,950	11,759,823	12,191,765	12,611,839	13,019,858
	事業費	19,428,780	20,400,219	21,420,229	22,491,240	23,615,802
	支出合計	30,810,730	32,160,042	33,611,994	35,103,079	36,635,660

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	京都市学童保育所管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> 長い運営実績を有していると思うが、理念や方針が形式的となっているように思われるため、漫然となっていないか点検が必要ではないか。 小学校との連携に力を入れておられると思う。担任の先生との懇談や夏祭り行事の教員の参加、学校周辺の清掃活動など、小学校と連携をした取組が行われている点は評価できる。 学童保育の専門家との記載もあり、実績やノウハウが豊富であることが伝わってきた。特に小学校や放課後まなび教室との情報共有を重要視している点を評価したい。子どものその時々を状況を理解し対応していく上で、学童以外での実態を知ることが大切なことだと思うので、ぜひ今後も大事にしていきたい。 障害のある児童や外国人労働者の児童、不登校児童など、多様な背景を持つ子どもたちを積極的に受け入れている点等は評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、京都市学童保育所管理委員会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		京都市学童保育所管理委員会
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	17.75
	小計	38	27.75
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	17.75
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	10	10.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	65.75
合計		104	93.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	89.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 理念や方針として記載されていることは正しい方向性のものであり、研修の実施自体は行われているようだが、監査指摘状況などを見ると、職員に対して実効性を伴っているか疑問が生じる。外部評価を入れていない点も疑問である。施設間での職員の交換研修なども検討されてはどうか。
- 外部評価等を受診されておらず、受診をされていない理由や外部評価受診に対する考え方が確認できなかった。日々の取組を客観的な視点から評価を受け、今後の取組に生かし、評価を公表することは事業の透明性からも大切である。今後、外部評価等やそれに替わる評価を受ける取組について検討されてはいかがか。
- 近年発生した事故などは、子どもの安心安全な居場所という学童保育の存在の核となる部分に関わるものであると思う。長年の実績は評価できるが、新しい視点を入れる意味で、外部評価なども取り入れてはどうか。
- 利用者からの意見の反映について、メール発信等を通して意見や声を聞いている点は評価できる。さらに、例えば専用アプリを使用した、日常的なミニアンケートを行うと、フィードバックも早くなり、有効である。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市左京区修学院沖殿町1番地（修学院小学校敷地内）
（施設外クラス）
同上
- (2) 施設規模等
構造 鉄骨造平屋建て
延べ床面積 99.30平方メートル
（施設外クラス）
修学院小学校内
延べ床面積 100.00平方メートル

2 指定期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	京都市学童保育所管理委員会（会長 岡崎 弘）
主たる事務所の所在地	京都市南区東九条東山王町27番地
設 立 年 月 日	昭和46年7月17日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	放課後児童健全育成事業としての施設を受託運営
他の本市学童保育所での指定管理の実績	京都市翔鸞学童保育所ほか6施設（計7施設）

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 遊びや活動を通して子どもたちが達成感や所属感を得られるように援助することが大切であることから、自然体験や所外活動等、多様な取組を実施するとともに、異なる年齢の子ども同士が関わり合える事業を行うことで、横や縦のつながりを深めつつ、子どもたちの社会性を養成し、自立の促進を図る。
- イ 学童保育所は放課後の生活の場として、重要な役割を担っていることから、子どもたちが安心して過ごせる温かい雰囲気づくりに努めるとともに、安全・衛生管理を徹底し、子どもたちの健康状態や心理面に配慮しながら、挨拶や整理整頓といった基本的な生活習慣の確立を支援する。
- ウ 保護者と子どもの様子や活動状況を積極的に情報交換し、懇談会や親子行事を通じて保護者同士の仲間作りを援助するとともに、小学校や専門機関、地域の関係団体と緊密な連携を図ることで、地域全体で子育てを支えるネットワークを構築する。

(2) 収支計画の概要

（単位：円）

		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収入	委託料	19,657,913	20,399,552	21,446,445	22,282,200	23,142,637
	利用料	10,918,425	11,464,346	12,037,563	12,639,441	13,271,413
	収入合計	30,576,338	31,863,898	33,484,008	34,921,641	36,414,050
支出	人件費	11,147,558	11,463,679	12,063,779	12,430,401	12,798,248
	事業費	19,428,780	20,400,219	21,420,229	22,491,240	23,615,802
	支出合計	30,576,338	31,863,898	33,484,008	34,921,641	36,414,050

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	京都市学童保育所管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> 長い運営実績を有していると思うが、理念や方針が形式的となっているように思われるため、漫然となっていないか点検が必要ではないか。 事業計画の作成において、通年計画から細かに計画が立案されていた。「QR コードの指導」が計画の中に盛り込まれているのも特徴的であった。 保護者間の交流ができるような活動への取組は、保護者の負担が大きすぎない範囲でぜひ続けてほしい。 他の児童館や小学校と交流を深める点は評価できる。また、地域祭りの太鼓出演など地域交流を行っている点等についても評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、京都市学童保育所管理委員会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		京都市学童保育所管理委員会
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	17.75
	小計	38	27.75
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	17.75
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	10	10.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	65.75
合計		104	93.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	89.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 理念や方針として記載されていることは正しい方向性のものであり、研修の実施自体は行われているようだが、監査指摘状況などを見ると、職員に対して実効性を伴っているか疑問が生じる。外部評価を入れていない点も疑問である。施設間での職員の交換研修なども検討されてはどうか。
- 外部評価等を受診されておらず、受診をされていない理由や外部評価受診に対する考え方が確認できなかった。日々の取組を客観的な視点から評価を受け、今後の取組に生かし、評価を公表することは事業の透明性からも大切である。今後、外部評価等やそれに替わる評価を受ける取組について検討されてはいかがか。
- 近年発生した事故などは、子どもの安心安全な居場所という学童保育の存在の核となる部分に関わるものであると思う。長年の実績は評価できるが、新しい視点を入れる意味で、外部評価なども取り入れてはどうか。
- 利用者からの意見の反映について、メール発信等を通して意見や声を聞いている点は評価できる。さらに、例えば専用アプリを使用した、日常的なミニアンケートを行うと、フィードバックも早くなり、有効である。

1 施設の概要

(1) 所在地

京都市東山区三条通大橋東入 2 丁目下る巽町 4 4 2 番地の 9
(京都市東山いきいき市民活動センター内)

(2) 施設規模等

構 造 鉄筋コンクリート造 4 階建て (2 階部分)
延べ床面積 1 4 7 . 9 5 平方メートル

2 指定期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 1 3 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名 (代表者名)	京都市学童保育所管理委員会 (会長 岡崎 弘)
主たる事務所の所在地	京都市南区東九条東山王町 2 7 番地
設 立 年 月 日	昭和 4 6 年 7 月 1 7 日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	放課後児童健全育成事業としての施設を受託運営
他の本市学童保育所での指定管理の実績	京都市翔鸞学童保育所ほか 6 施設 (計 7 施設)

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

ア 遊びや活動を通して子どもたちが達成感や所属感を得られるように援助することが大切であることから、自然体験や所外活動等、多様な取組を実施するとともに、異なる年齢の子ども同士が関わり合える事業を行うことで、横や縦のつながりを深めつつ、子どもたちの社会性を養成し、自立の促進を図る。

イ 学童保育所は放課後の生活の場として、重要な役割を担っていることから、子どもたちが安心して過ごせる温かい雰囲気づくりに努めるとともに、安全・衛生管理を徹底し、子どもたちの健康状態や心理面に配慮しながら、挨拶や整理整頓といった基本的な生活習慣の確立を支援する。

ウ 保護者と子どもの様子や活動状況を積極的に情報交換し、懇談会や親子行事を通じて保護者同士の仲間作りを援助するとともに、小学校や専門機関、地域の関係団体と緊密な連携を図ることで、地域全体で子育てを支えるネットワークを構築する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
収入	委託料	14, 971, 885	15, 383, 782	15, 806, 711	13, 474, 741	13, 989, 168
	利用料	2, 037, 210	2, 139, 070	2, 246, 023	2, 358, 324	2, 476, 240
	収入合計	17, 009, 095	17, 522, 852	18, 052, 734	15, 833, 065	16, 465, 408
支出	人件費	12, 358, 603	12, 639, 836	12, 925, 568	10, 449, 541	10, 812, 708
	事業費	4, 650, 492	4, 883, 016	5, 127, 166	5, 383, 524	5, 652, 700
	支出合計	17, 009, 095	17, 522, 852	18, 052, 734	15, 833, 065	16, 465, 408

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	京都市学童保育所管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> 長い運営実績を有していると思うが、理念や方針が形式的となっているように思われるため、漫然となっていないか点検が必要ではないか。 市民活動センター内にあるため、センターの活動にも参加されており、地域交流においては、NPO 法人と連携した取組もされている。地域住民が作っておられる、菜園での苗植えや収穫体験等、立地条件を活かした取組をされているのは評価できる。 課題として挙げられている学校との距離感については、引き続き意識して対応いただきたいが、市民活動センターの活動への参加など、今後もその立地を活かして行ってほしい。 他の児童館や小学校と交流を深める点は評価できる。また、防犯教室への参加やNPO 法人との連携等についても評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、京都市学童保育所管理委員会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		京都市学童保育所管理委員会
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	17.75
	小計	38	27.75
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	17.75
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	10	10.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	65.75
合計		104	93.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	89.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 理念や方針として記載されていることは正しい方向性のものであり、研修の実施自体は行われているようだが、監査指摘状況などを見ると、職員に対して実効性を伴っているか疑問が生じる。外部評価を入れていない点も疑問である。施設間での職員の交換研修なども検討されてはどうか。
- 外部評価等を受診されておらず、受診をされていない理由や外部評価受診に対する考え方が確認できなかった。日々の取組を客観的な視点から評価を受け、今後の取組に生かし、評価を公表することは事業の透明性からも大切である。今後、外部評価等やそれに替わる評価を受ける取組について検討されてはいかがか。
- 近年発生した事故などは、子どもの安心安全な居場所という学童保育の存在の核となる部分に関わるものであると思う。長年の実績は評価できるが、新しい視点を入れる意味で、外部評価なども取り入れてはどうか。
- 利用者からの意見の反映について、メール発信等を通して意見や声を聞いている点は評価できる。さらに、例えば専用アプリを使用した、日常的なミニアンケートを行うと、フィードバックも早くなり、有効である。

1 施設の概要

(1) 所在地

京都市東山区大和太路通七条下る 5 丁目下池田町 5 2 7 番地 (東山泉小中学校内)

(施設外クラス)

京都市東山区本町通三ノ橋上る本町十七丁目 3 5 8 番地

(2) 施設規模等

構 造 東山泉小中学校内

延べ床面積 143.73 平方メートル

(施設外クラス)

元月輪小学校内

延べ床面積 82.00 平方メートル

2 指定期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名 (代表者名)	京都市学童保育所管理委員会 (会長 岡崎 弘)
主たる事務所の所在地	京都市南区東九条東山王町 2 7 番地
設 立 年 月 日	昭和 46 年 7 月 17 日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	放課後児童健全育成事業としての施設を受託運営
他の本市学童保育所での指定管理の実績	京都市翔鸞学童保育所ほか 6 施設 (計 7 施設)

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

ア 遊びや活動を通して子どもたちが達成感や所属感を得られるように援助することが大切であることから、自然体験や所外活動等、多様な取組を実施するとともに、異なる年齢の子ども同士が関わり合える事業を行うことで、横や縦のつながりを深めつつ、子どもたちの社会性を養成し、自立の促進を図る。

イ 学童保育所は放課後の生活の場として、重要な役割を担っていることから、子どもたちが安心して過ごせる温かい雰囲気づくりに努めるとともに、安全・衛生管理を徹底し、子どもたちの健康状態や心理面に配慮しながら、挨拶や整理整頓といった基本的な生活習慣の確立を支援する。

ウ 保護者と子どもの様子や活動状況を積極的に情報交換し、懇談会や親子行事を通じて保護者同士の仲間作りを援助するとともに、小学校や専門機関、地域の関係団体と緊密な連携を図ることで、地域全体で子育てを支えるネットワークを構築する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
収入	委託料	24,927,546	25,749,160	26,766,020	27,651,436	28,577,481
	利用料	7,509,075	7,884,528	8,278,754	8,692,691	9,127,325
	収入合計	32,436,621	33,633,688	35,044,774	36,344,127	37,704,806
支出	人件費	12,988,731	13,213,404	13,603,476	13,830,765	14,065,776
	事業費	19,447,890	20,420,284	21,441,298	22,513,362	23,639,030
	支出合計	32,436,621	33,633,688	35,044,774	36,344,127	37,704,806

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	京都市学童保育所管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> 長い運営実績を有していると思うが、理念や方針が形式的となっているように思われるため、漫然となっていないか点検が必要ではないか。 事業計画等を通じ、異年齢集団での活動を通じた取組に力を入れておられると感じた。異年齢集団での活動を通じ、基本的な生活習慣を身につけ、自立する力を育てる取組は非常に大切であると思う。 学童保育の専門家との記載もあり、実績やノウハウが豊富であることが伝わってきた。特に小学校や放課後まなび教室との情報共有を重要視している点を評価したい。子どものその時々を状況を理解し対応していく上で、学童以外での実態を知ることが大切なことだと思うので、ぜひ今後も大事にしていきたい。 他の児童館や小学校と交流を深める点等は評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、京都市学童保育所管理委員会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		京都市学童保育所管理委員会
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	17.75
	小計	38	27.75
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	17.75
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	10	10.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	65.75
	合計	104	93.50
	合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)	100	89.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

- (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見
- 理念や方針として記載されていることは正しい方向性のものであり、研修の実施自体は行われているようだが、監査指摘状況などを見ると、職員に対して実効性を伴っているか疑問が生じる。外部評価を入れていない点も疑問である。施設間での職員の交換研修なども検討されてはどうか。
 - 外部評価等を受診されておらず、受診をされていない理由や外部評価受診に対する考え方が確認できなかった。日々の取組を客観的な視点から評価を受け、今後の取組に生かし、評価を公表することは事業の透明性からも大切である。今後、外部評価等やそれに替わる評価を受ける取組について検討されてはどうか。
 - 近年発生した事故などは、子どもの安心安全な居場所という学童保育の存在の核となる部分に関わるものであると思う。長年の実績は評価できるが、新しい視点を入れる意味で、外部評価なども取り入れてはどうか。
 - 利用者からの意見の反映について、メール発信等を通して意見や声を聞いている点は評価できる。さらに、例えば専用アプリを使用した、日常的なミニアンケートを行うと、フィードバックも早くなり、有効である。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市南区東九条南烏丸町19番地（凌風小中学校内）
- (2) 施設規模等
構 造 凌風小中学校内
延べ床面積 128.70平方メートル

2 指定期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	京都市学童保育所管理委員会（会長 岡崎 弘）
主たる事務所の所在地	京都市南区東九条東山王町27番地
設 立 年 月 日	昭和46年7月17日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	放課後児童健全育成事業としての施設を受託運営
他の本市学童保育所での指定管理の実績	京都市翔鸞学童保育所ほか6施設（計7施設）

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 遊びや活動を通して子どもたちが達成感や所属感を得られるように援助することが大切であることから、自然体験や所外活動等、多様な取組を実施するとともに、異なる年齢の子ども同士が関わり合える事業を行うことで、横や縦のつながりを深めつつ、子どもたちの社会性を養成し、自立の促進を図る。
- イ 学童保育所は放課後の生活の場として、重要な役割を担っていることから、子どもたちが安心して過ごせる温かい雰囲気づくりに努めるとともに、安全・衛生管理を徹底し、子どもたちの健康状態や心理面に配慮しながら、挨拶や整理整頓といった基本的な生活習慣の確立を支援する。
- ウ 保護者と子どもの様子や活動状況を積極的に情報交換し、懇談会や親子行事を通じて保護者同士の仲間作りを援助するとともに、小学校や専門機関、地域の関係団体と緊密な連携を図ることで、地域全体で子育てを支えるネットワークを構築する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収入	委託料等	19,231,263	19,956,853	20,642,712	21,336,677	22,028,373
	利用料	5,479,005	5,752,955	6,040,602	6,342,632	6,659,763
	収入合計	24,710,268	25,709,808	26,683,314	27,679,309	28,688,136
支出	人件費	13,586,196	14,029,533	14,419,026	14,801,807	15,166,759
	事業費	11,124,072	11,680,275	12,264,288	12,877,502	13,521,377
	支出合計	24,710,268	25,709,808	26,683,314	27,679,309	28,688,136

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	京都市学童保育所管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> 長い運営実績を有していると思うが、理念や方針が形式的となっているように思われるため、漫然となっていないか点検が必要ではないか。 地域交流において、小学校との連携は年度当初に行っておられるが、担任の先生だけでなく、スクールソーシャルワーカーとの懇談等も行われるとともに、通年計画でもあげておられ、保護者支援にも力を入れておられるのが評価できる。 常勤職員の割合が高く、安定して運営されている印象。卒所生等のアルバイト、地域のボランティアや実習生の受入れも、子どもたちにとって良い刺激になると思う。 他の児童館や小学校と交流を深める点等は評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、京都市学童保育所管理委員会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		京都市学童保育所管理委員会
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	17.75
	小計	38	27.75
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	17.75
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	10	10.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	65.75
合計		104	93.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	89.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 理念や方針として記載されていることは正しい方向性のものであり、研修の実施自体は行われているようだが、監査指摘状況などを見ると、職員に対して実効性を伴っているか疑問が生じる。外部評価を入れていない点も疑問である。施設間での職員の交換研修なども検討されてはどうか。
- 外部評価等を受診されておらず、受診をされていない理由や外部評価受診に対する考え方が確認できなかった。日々の取組を客観的な視点から評価を受け、今後の取組に生かし、評価を公表することは事業の透明性からも大切である。今後、外部評価等やそれに替わる評価を受ける取組について検討されてはいかがか。
- 近年発生した事故などは、子どもの安心安全な居場所という学童保育の存在の核となる部分に関わるものであると思う。長年の実績は評価できるが、新しい視点を入れる意味で、外部評価なども取り入れてはどうか。
- 利用者からの意見の反映について、メール発信等を通して意見や声を聞いている点は評価できる。さらに、例えば専用アプリを使用した、日常的なミニアンケートを行うと、フィードバックも早くなり、有効である。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市西京区桂市ノ前町 3 1 番地 (桂東小学校敷地内)
(施設外クラス)
同 上
- (2) 施設規模等
構 造 鉄骨造平屋建て
延べ床面積 93.57 平方メートル
(施設外クラス)
桂東小学校内
延べ床面積 80.22 平方メートル

2 指定期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名 (代表者名)	京都市学童保育所管理委員会 (会長 岡崎 弘)
主たる事務所の所在地	京都市南区東九条東山王町 2 7 番地
設 立 年 月 日	昭和 46 年 7 月 17 日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	放課後児童健全育成事業としての施設を受託運営
他の本市学童保育所での指定管理の実績	京都市翔鸞学童保育所ほか 6 施設 (計 7 施設)

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 遊びや活動を通して子どもたちが達成感や所属感を得られるように援助することが大切であることから、自然体験や所外活動等、多様な取組を実施するとともに、異なる年齢の子ども同士が関わり合える事業を行うことで、横や縦のつながりを深めつつ、子どもたちの社会性を養成し、自立の促進を図る。
- イ 学童保育所は放課後の生活の場として、重要な役割を担っていることから、子どもたちが安心して過ごせる温かい雰囲気づくりに努めるとともに、安全・衛生管理を徹底し、子どもたちの健康状態や心理面に配慮しながら、挨拶や整理整頓といった基本的な生活習慣の確立を支援する。
- ウ 保護者と子どもの様子や活動状況を積極的に情報交換し、懇談会や親子行事を通じて保護者同士の仲間作りを援助するとともに、小学校や専門機関、地域の関係団体と緊密な連携を図ることで、地域全体で子育てを支えるネットワークを構築する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
収入	委託料	16,687,509	17,152,368	17,578,170	18,015,360	18,503,967
	利用料	6,569,325	6,897,791	7,242,680	7,604,814	7,985,054
	収入合計	23,256,834	24,050,159	24,820,850	25,620,174	26,489,021
支出	人件費	13,087,276	13,372,124	13,608,914	13,847,642	14,127,863
	事業費	10,169,558	10,678,035	11,211,936	11,772,532	12,361,158
	支出合計	23,256,834	24,050,159	24,820,850	25,620,174	26,489,021

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	京都市学童保育所管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> 長い運営実績を有していると思うが、理念や方針が形式的となっているように思われるため、漫然となっていないか点検が必要ではないか。 事業計画の通年計画において感謝の気持ちを忘れずに思いやりの心を育てること、自分も友達も大切にできる子を育てること、基本的な生活習慣を身につけること、整理整頓と片付け、異年齢の集団の中での自立的な生活の支援等子どもが成長の中で学んでいくべきことが明記されていた。 学童保育の専門家との記載もあり、実績やノウハウが豊富であることが伝わってきた。特に小学校や放課後まなび教室との情報共有を重要視している点を評価したい。子どものその時々を状況を理解し対応していく上で、学童以外での実態を知ることは大切なことだと思うので、ぜひ今後も大事にしていきたい。 他の児童館や小学校と交流を深める点等は評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、京都市学童保育所管理委員会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		京都市学童保育所管理委員会
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	17.75
	小計	38	27.75
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	17.75
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	10	10.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	65.75
合計		104	93.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	89.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 理念や方針として記載されていることは正しい方向性のものであり、研修の実施自体は行われているようだが、監査指摘状況などを見ると、職員に対して実効性を伴っているか疑問が生じる。外部評価を入れていない点も疑問である。施設間での職員の交換研修なども検討されてはどうか。
- 外部評価等を受診されておらず、受診をされていない理由や外部評価受診に対する考え方が確認できなかった。日々の取組を客観的な視点から評価を受け、今後の取組に生かし、評価を公表することは事業の透明性からも大切である。今後、外部評価等やそれに替わる評価を受ける取組について検討されてはどうか。
- 近年発生した事故などは、子どもの安心安全な居場所という学童保育の存在の核となる部分に関わるものであると思う。長年の実績は評価できるが、新しい視点を入れる意味で、外部評価なども取り入れてはどうか。
- 利用者からの意見の反映について、メール発信等を通して意見や声を聞いている点は評価できる。さらに、例えば専用アプリを使用した、日常的なミニアンケートを行うと、フィードバックも早くなり、有効である。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市伏見区向島善阿弥町 2 番地の 3 (向島小学校内)
- (2) 施設規模等
向島小学校内
延べ床面積 65.80 平方メートル

2 指定期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	京都市学童保育所管理委員会（会長 岡崎 弘）
主たる事務所の所在地	京都市南区東九条東山王町 2 7 番地
設 立 年 月 日	昭和 46 年 7 月 17 日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	放課後児童健全育成事業としての施設を受託運営
他の本市学童保育所での指定管理の実績	京都市翔鸞学童保育所ほか 6 施設（計 7 施設）

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 遊びや活動を通して子どもたちが達成感や所属感を得られるように援助することが大切であることから、自然体験や所外活動等、多様な取組を実施するとともに、異なる年齢の子ども同士が関わり合える事業を行うことで、横や縦のつながりを深めつつ、子どもたちの社会性を養成し、自立の促進を図る。
- イ 学童保育所は放課後の生活の場として、重要な役割を担っていることから、子どもたちが安心して過ごせる温かい雰囲気づくりに努めるとともに、安全・衛生管理を徹底し、子どもたちの健康状態や心理面に配慮しながら、挨拶や整理整頓といった基本的な生活習慣の確立を支援する。
- ウ 保護者と子どもの様子や活動状況を積極的に情報交換し、懇談会や親子行事を通じて保護者同士の仲間作りを援助するとともに、小学校や専門機関、地域の関係団体と緊密な連携を図ることで、地域全体で子育てを支えるネットワークを構築する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
収入	委託料	10,398,011	10,662,091	11,090,053	11,298,705	11,507,781
	利用料	4,398,345	4,618,262	4,849,175	5,091,633	5,346,214
	収入合計	14,796,356	15,280,353	15,939,228	16,390,338	16,853,995
支出	人件費	10,061,381	10,308,630	10,718,919	10,909,014	11,098,605
	事業費	4,734,975	4,971,723	5,220,309	5,481,324	5,755,390
	支出合計	14,796,356	15,280,353	15,939,228	16,390,338	16,853,995

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	京都市学童保育所管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> 長い運営実績を有していると思うが、理念や方針が形式的となっているように思われるため、漫然となっていないか点検が必要ではないか。 事業計画の作成において、通年計画として基本的な生活習慣の醸成に重点をおきながら、自立した生活能力の育成や責任感などの社会性の育成をしっかりと明記し、1クラスという少ない体制でありながら、学校や地域との連携にも努めておられた。 学童保育の専門家との記載もあり、実績やノウハウが豊富であることが伝わってきた。特に小学校や放課後まなび教室との情報共有を重要視している点を評価したい。子どものその時々々の状況を理解し対応していく上で、学童以外での実態を知ることが大切なことだと思うので、ぜひ今後も大事にしていきたい。 他の児童館や小学校と交流を深める点は評価できる。また、伏見区のかかるた大会への参加などの地域交流についても評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、京都市学童保育所管理委員会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		京都市学童保育所管理委員会
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	17.75
	小計	38	27.75
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	17.75
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	10	10.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	65.75
合計		104	93.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	89.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 理念や方針として記載されていることは正しい方向性のものであり、研修の実施自体は行われているようだが、監査指摘状況などを見ると、職員に対して実効性を伴っているか疑問が生じる。外部評価を入れていない点も疑問である。施設間での職員の交換研修なども検討されてはどうか。
- 外部評価等を受診されておらず、受診をされていない理由や外部評価受診に対する考え方が確認できなかった。日々の取組を客観的な視点から評価を受け、今後の取組に生かし、評価を公表することは事業の透明性からも大切である。今後、外部評価等やそれに替わる評価を受ける取組について検討されてはいかがか。
- 利用者からの意見の反映について、メール発信等を通して意見や声を聞いている点は評価できる。さらに、例えば専用アプリを使用した、日常的なミニアンケートを行うと、フィードバックも早くなり、有効である。

各指定候補者の役員等名簿

団 体 名	役 員
一般社団法人京都市 ひとり親家庭福祉連 合会 (議第 160 号、議第 161 号)	代表理事 横内 美佐子 理 事 山本 八十子、渡邊 洋子、草野 政子、田中 美佐子、 西 眞弓、中川 敏子、山本 和子、安保 千秋、 國重 晴彦、古田 敏恵、仲井 賢一 監 事 大下 久美子、三上 かづ代
社会福祉法人京都保 育センター (議第 162 号、議第 166 号、議第 167 号)	理事長 藤井 修 理 事 唐沢 三代子、清都 ひさ子、藤井 伸生、 市川 佐規恵、池添 鉄平 森 明美、三浦 正人、溝口 晋太郎 児童館長 満田 博子 保育園長 山下 直子
社会福祉法人洛和福 祉会 (議第 163 号、議第 170 号)	理事長 矢野 裕典 理 事 矢野 ひとみ、健代 孝和、清原 元輔、橋本 京三、 山川 一朗 監 事 村尾 慎哉、湊 二郎
社会福祉法人清和園 (議第 164 号)	理事長 吉瀬 純一 理 事 寺町 邦昭、上田 忠裕、遠山 淳、森 晋一郎、 小村 一誠 監 事 池田 博義、矢野 拓 評議員 池上 佳典、細井 宏俊、齊藤 亮秋、内藤 恒克、 藤井 幹也、吉田 大治、水野 正美、飛驒 芳廣、 廉林 寿昌、名倉 昌男
社会福祉法人宏量福 祉会 (議第 165 号)	理事長 芹澤 出 理 事 矢野 武也、横内 美佐子、清水 教恵、伊藤 正博、 空閑 浩人、芹澤 千恵美、野崎 智子 監 事 西村 彰、長谷川 佐喜男 評議員 藤野 節子、佐々木 ちづ子、中川 みどり、辻 貞和、 佐野 夏代、坂田 克江、古屋 明美、神保 忠俊、 鶴谷 祥太、塩尻 貴代美
社会福祉法人積慶園 (議第 168 号)	理事長 古村 正哉 理 事 小石 敦子、天方 浩之、石黒 善治、古村 絢子、 藪下 聡美 監 事 西村 勲、中村 英司 評議員 上仲 敦子、棚橋 和代、林 俊光、曾谷 栄一、 松原 祐紀、高森 静子
社会福祉法人曙福祉 会	理事長 矢島 里美 理 事 後藤 良博、山内 幸雄、安藤 和彦、佐伯 聡子、

団 体 名	役 員
(議第 169 号)	矢島 敬子 監 事 藍 昭彦、松尾 美徳 評議員 林 堅太郎、山手 重信、河原 善雄、竹内 宏和、 中村 弘吉、石川 道子、紺谷 典子 編輯・経理 今村 祐嗣、松尾 美徳、飯干 誠一郎
京都市学童保育所管 理委員会 (議第 171 号、議第 172 号、議第 173 号、 議第 174 号、議第 175 号、議第 176 号、議第 177 号)	会 長 岡崎 弘 副会長 清都 ひさ子 理 事 國重 晴彦、竹村 達郎、半田 優、宮本 美樹、 飯吉 昌子、井口 洋子 監 事 乾 雅晴 会計監査 山森 純子、山田 和幹